

特 記 仕 様 書

【適用範囲】

本工事の施工にあたって受注者は、契約書に基づき、設計図書にしたがって施工するものとする。

また、設計図書のうち仕様書については、本「特記仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」、「建築物解体工事共通仕様書」、「建築工事安全施工技術指針」及び「建築工事公衆災害防止対策要綱 建築工事編」を適用するものとする。

ただし、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」のうち「1. 1. 4 工事实績情報システムの登録」について、受注者は、CORINSで工事情報を登録すること。

【 工事等請負契約にあたっての留意事項 】

R7. 4. 1改訂

1. 契約保証金の納付について（財務規則第145条）

1000万円以上の請負契約書を締結するときは、契約保証金の納付が必要です。

ただし、同条第3項の担保の提供をもって代えることができます。

2. 前金払の支払いについて（財務規則約款第35条）

請負金額が50万円以上の工事で、保証事業会社と保証契約を締結したときは前金払の支払いを請求することができます。

3. 施工体系図等の作成と掲示について（入札契約適正化法関連）

工事請負等（委託を含む）にあたっては、妙高市の入札案件すべてについて下請契約を締結した場合、施工体系図を作成し施工計画とあわせて監督員に提出してください。

また、建設業法第24条の7第4項に規定する施工体系図については、工事現場の「工事関係者及び公衆が見やすい場所」に掲示しなければなりません。

4. 施工体制等確認について

契約金額が600万円以上の工事は「施工体制等確認要領」に基づき、工事現場等における施工体制等を確認しますので、監督員が関係書類の提出を求めた場合は、その指示に従ってください。

5. 請負工事成績評定について

請負金額が500万円以上の工事は「妙高市請負工事成績評定実施要綱」に基づき、工事成績を評定します。

6. 工事における創意工夫等実施状況の提出について（工事成績評定要領第4条第7項）

受注者は、工事の施工において、自ら立案した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式（要領別紙6・別紙6の2）により提出することができます。

7. 工事等事故報告について

万一事故が発生した場合は、「工事等事故報告要領」に基づき、速やかに速報してください。

また、報告を要する事故の場合は、所定の様式に従い、速やかに報告してください。

8. 建設業退職金共済制度に関する事務取扱について

請負金額が200万円以上の工事は「建設業退職金共済制度に関する事務取扱要領」に基づき、「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」あるいは「建設業退職金共済証紙（無購入・購入遅延）理由書」を所管課へ提出してください。

妙高市「週休２日促進工事（受注者希望方式）」（令和７年４月）

特記仕様書

本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して月単位の週休２日に取り組む旨を協議した上で工事を実施する『妙高市「週休２日促進工事（受注者希望方式）」』である。なお、通期の週休２日について、受注者は協議にかかわらず取り組むものとする。

受注者は、『妙高市「週休２日促進工事」（令和７年４月）【営繕等工事】実施要領』に基づき、月単位の週休２日の取組の希望の有無を工事着手前に、監督員に工事打合せ簿等で報告するものとする。

受注者は、工事着手前に、月単位の週休２日又は通期の週休２日の取得計画が確認できる「現場閉所予定日」（分離発注工事の場合は「現場休息の予定日」）を記載した「実施工程表」等を作成し、監督員の確認を得た上で提出し、週休２日に取り組むものとする。

工事着手後に、工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度、「実施工程表」等を提出するものとする。

通期の４週８休以上（現場閉所率２８．５％（８日／２８日）以上）を前提に補正係数１．０２により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正して予定価格を作成しており、発注者は、現場閉所（現場休息）の達成状況を確認し、月単位の４週８休以上を達成した場合は、補正係数を１．０４に変更し、請負代金額のうち労務費補正分を増額変更し、通期の４週８休に満たない場合は、請負代金額のうち労務費補正分を減額変更する。

実施要領等のデータは、妙高市ホームページから入手できる。

「週休２日適用工事」の補正対象となる「労務費・機械賃料単価コード」及び「積算システムの計算機能で週休２日補正係数が自動的に乗じられる単価コード」は、新潟県ホームページを参照すること。

(<https://www.pref.niigata.lg.jp/gijutsu/1356857978573.html>)

工 事 仕 様 総 括 表

本工事は、「旧いきいきプラザ解体撤去 工事」設計図書にほか以下によるものとする。

- ☒ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」
- ☒ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）・同解説（令和5年版）」
- ☐ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」
- ☐ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和7年版」
- ☒ 建築工事安全施工技術指針
- ☒ 建築工事公衆災害防止対策要綱 建築工事編

施 工 条 件 総 括 表

下記項目、事項のうち ☒ 印欄は、工事施工にあたって制約等を受けることになるので明示する。

なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生した時は、甲（市）と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明示事項	施 工 条 件 等																									
<input type="checkbox"/> 特記事項1	<div><input type="checkbox"/> 特定元方事業者、元方事業者</div> <div>① 特定元方事業者の指名</div> <div>工事</div> <div>② 下記工事の受注者は、①に関連する元方事業者として労働安全衛生法第29条及び第32条に規定する措置を行うこと。</div> <div>工事</div>																									
<input checked="" type="checkbox"/> 特記事項2	<div><input checked="" type="checkbox"/> 設計書数量等の取扱い</div> <div>① 設計書数量は妙高市が積算した参考数量として提示している。</div> <div>② 設計書に記載がない事項又は設計書と現場の相違が著しい場合等は、監督員とその取扱いについて協議を行うこととし、それ以外のもの及び軽微なものについては、原則として変更の対象としない。</div>																									
<input checked="" type="checkbox"/> 1.構造・規模	<div><input checked="" type="checkbox"/> (1)対象建物の構造・規模</div> <table><tr><td colspan="2">本体棟</td><td rowspan="2">別棟</td><td rowspan="2">渡り廊下</td></tr><tr><td>本体部</td><td>増築部</td></tr><tr><td>鉄筋コンクリート造</td><td>鉄骨造</td><td>鉄筋コンクリート造</td><td>鉄筋コンクリート造</td></tr><tr><td>地下1階 地上5階</td><td>地上4階</td><td>地下1階 地上5階</td><td>地上4階</td></tr><tr><td>2,583.42㎡</td><td>191.56㎡</td><td>602.14㎡</td><td>32.71㎡</td></tr><tr><td>延床面積</td><td colspan="2">3,409.83㎡</td><td></td></tr></table> <div><input checked="" type="checkbox"/> (2)解体範囲</div> <div>設計図面 KA502図参照</div> <div>本体棟・別棟</div> <div>上部躯体・・・解体撤去</div> <div>地下躯体・・・第2期工事に支障となる部分（スラブ、梁、柱頭部）解体撤去</div> <div>B1Fスラブ、地中梁上部 解体撤去</div> <div>その他躯体は適正処理（耐圧盤水抜き穴開け等）後残置（埋戻し）</div> <div>渡り廊下・・・ 解体撤去</div>				本体棟		別棟	渡り廊下	本体部	増築部	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	地下1階 地上5階	地上4階	地下1階 地上5階	地上4階	2,583.42㎡	191.56㎡	602.14㎡	32.71㎡	延床面積	3,409.83㎡		
本体棟		別棟	渡り廊下																							
本体部	増築部																									
鉄筋コンクリート造	鉄骨造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造																							
地下1階 地上5階	地上4階	地下1階 地上5階	地上4階																							
2,583.42㎡	191.56㎡	602.14㎡	32.71㎡																							
延床面積	3,409.83㎡																									
<input checked="" type="checkbox"/> 2.工程関係	<div><input type="checkbox"/> (1)関連する別途発注工事あり</div> <div>上記工事の予定期間： ー 日間</div> <div><input checked="" type="checkbox"/> (2)施工時期、時間、方法等の制限あり</div> <div>受注者は工事請負契約締結後、以下の条件を十分に検討した上で、速やかに実施工程表を作成し、監督員の承諾を受けること。</div> <div>① 解体工事の着手にあたり、現地の事前確認を行い周辺環境、施工条件、対象建築物の構造要件等を十分に考慮し実施工程表に反映させること。</div>																									

明示事項	施 工 条 件 等
	<p>② マスター工程表の他、工事期間中は監督員の指示に基づき、月間工程表、週間工程表を作成し、提出すること。</p> <p>③ 当該工事は妙高市「週休2日促進工事（受注者希望方式）」とする。</p> <p>④ 当該工事の工事期間には降雪期の休工を含むものとし、概ね以下に基づき工程計画を作成すること。ただし、休工の扱いについては、降雪が無く安全な工事施工に支障が無ければこの限りではなく、その場合は監督員との協議により決定する。</p> <p>1) 令和7年10月～令和7年12月 内部、内装解体撤去</p> <p>2) 令和8年 1月～令和8年 2月 休 工</p> <p>3) 令和8年 3月～令和8年 9月 上部躯体、地下躯体、整地</p> <p>⑤ アスベスト除去工事は上記1)、3) のどちらでも良い。受注者が責任を持って最適な工期で適正な除去を行うこと。（アスベスト等位置、数量は9（2）による）</p> <p>⑥ 原則として、工事の開始時間は8：00、終了時間は17：00とし、12：00～13：00の間は重機械等のエンジンを停止させること。</p>
	<p><input type="checkbox"/> (3)関係機関協議による工程条件あり</p> <p>協議機関：</p> <p>協議内容：</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/> (4)その他事項</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 工事の中止</p> <p>労働安全対策及び適正な解体施工維持のため降雪期は工事を中止（休工）する。</p> <p>中止（休工）の予定時期： 令和8年1月 ～ 令和8年2月</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 工事における週休2日の取得 妙高市「週休2日促進工事（受注者希望方式）」</p> <p><input type="checkbox"/> 発注者指定方式</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 受注者希望方式</p> <p><input type="checkbox"/> 週休2日の対象外工事</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 3.用地関係	<p><input type="checkbox"/> (1)工事用地等の未処理部分あり</p> <p>区域・区間等：</p> <p>処理見込み時期： 令和 年 月</p> <p>制限・条件等：</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/> (2)仮設ヤードの貸与</p> <p>場 所：</p> <p>期 間：</p> <p>条 件： <input type="checkbox"/> 有償 <input type="checkbox"/> 無償</p> <p>その他： 敷地外に設ける場合は、受注者の責任において確保する。 (現場事務所、工事車両駐車場も同様とする。)</p> <p>市が貸与する仮設ヤードは無し</p>
	<p><input type="checkbox"/> (3)その他用地関連事項</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 4.公害対策	<p><input checked="" type="checkbox"/> (1)公害防止の制限あり（騒音・振動、粉塵、排出ガス、水質汚染等）</p> <p>作業時間： 基本作業時間 8時00分～17時00分</p> <p>※ 「騒音規制法の規定による規制する地域の指定及び規制基準」及び「振動規制法に基づく振動の規制地域、規制基準」の告示を厳守する。</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/> (2)近隣住民への配慮</p> <p>工事説明会： <input type="checkbox"/> 開催する <input checked="" type="checkbox"/> 開催しない</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事現場の近隣住民に対しては、必要に応じて個別に対応し十分な説明を行うこと。（工事内容、工期、作業時間、騒音・振動対策、現場の責任体制等） 工事施工に起因する近隣住民等からのクレームに対しては、受注者が誠意を持って迅速・適格に対応すること。
	<p><input checked="" type="checkbox"/> (3)着手前調査の実施（工損調査、工事影響度調査等）</p> <p>工損調査は妙高市が実施する。受注者には必要に応じて工損調査の資料を提示する。</p> <p>調査対象： 別紙参照</p> <p>調査方法： 妙高市工損調査</p>

明示事項	施 工 条 件 等
	<input type="checkbox"/> (3)仮設道路設置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 工法指定の有無： ・ 用 地 関 係： ・ 安 全 施 設： ・ 完了後の措置：<input type="checkbox"/> 存置 <input type="checkbox"/> 撤去 条 件 （ ）
	<input type="checkbox"/> (4)その他
<input checked="" type="checkbox"/> 7.仮設設備	<input type="checkbox"/> (1)指定仮設
	<input checked="" type="checkbox"/> (2)仮設設備は、指定仮設、任意仮設を問わず、すべての設備は、受注者の責任施工とする。
	<input checked="" type="checkbox"/> (2)仮設設備の条件指定（任意仮設） <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮 設 水 道：受注者の責任において確保する。 ・ 仮 設 電 気：受注者の責任において確保する。 ・ 現 場 事 務 所：受注者の責任において設置することができる。 ・ 作業員休憩所：受注者の責任において設置することができる。 ・ 仮 設 ト イ レ：受注者の責任において確保する。（水洗式） ・ 工 事 用 駐 車 場：受注者の責任において確保する。 ・ そ の 他 設 備：労働安全衛生規則の改正に伴い「熱中症対策の強化」に必要な設備については、受注者が責任を持って整備すること。
	<input type="checkbox"/> (3)仮設構造物の転用、兼用（任意仮設） <ul style="list-style-type: none"> ・ 工 種： ・ 内 容：
	<input checked="" type="checkbox"/> (4)山留、作業構台等（任意仮設） <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>① 山留 ※工法は受注者の提案可</p> <p>工 法：<input type="checkbox"/> 親杭横矢板</p> <p style="margin-left: 100px;"><input type="checkbox"/> 鋼矢板</p> <p style="margin-left: 100px;"><input type="checkbox"/> 地中連続壁</p> <p style="margin-left: 100px;"><input checked="" type="checkbox"/> その他(オ・プンカット等)</p> <p>山 留 壁：<input type="checkbox"/> 工事完了後引き抜き <input type="checkbox"/> 工事完了後残置</p> <p>② 作業構台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構 造 規 模： ・ 設 置 期 間： </div> <div style="flex: 1; font-size: 2em; margin: 0 10px;">}</div> <div style="flex: 2;"> <p>地下躯体解体時には山留を行わない工法にて施工すること。（部分的又は簡易的な山留は受注者の責任において設置することができる。ただし、費用は本工事費に含む。）</p> <p>詳細は監督員と協議の上決定する。</p> </div> </div>
	<input type="checkbox"/> (5)イメージアップ <ul style="list-style-type: none"> ・
	<input checked="" type="checkbox"/> (6)その他仮設 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 上部階解体に伴う地下部補強 <p style="margin-left: 40px;">任意仮設とし、本工事にすべて含む。受注者の責任において安全に設置する。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 8.残土・埋戻し	<input type="checkbox"/> (1)残土処分 <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p><input type="checkbox"/> 指定処分場あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名 称： ・ 位 置： <p><input type="checkbox"/> 指定処分場なし</p> <p style="margin-left: 20px;">想定処分場：</p> </div> <div style="flex: 2; text-align: right;"> <p>片道 Km以下（DID区間 ）</p> </div> </div>

明示事項	施 工 条 件 等				
	<input checked="" type="checkbox"/> (3)その他（残置山留） <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該施設建設時の残置山留については不明。 ・ 残置山留が存在し、地下躯体解体に支障となる場合は監督員との協議により、取扱いを決定する。 				
<input checked="" type="checkbox"/> 11.排水工 （濁水処理含）	<input type="checkbox"/> (1)水、湧水処理等の特別な対策あり <ul style="list-style-type: none"> ・ 内 容： ・ 位 置： <input checked="" type="checkbox"/> (2)散水養生 常時散水（上部階、地階 躯体解体時）				
<input type="checkbox"/> 12.薬液注入等	<input type="checkbox"/> (1)薬液注入工法あり <ul style="list-style-type: none"> ・ 内 容： ・ 位 置： 				
<input type="checkbox"/> 13.支給品等	<input type="checkbox"/> (1)現場発生材あり <ul style="list-style-type: none"> ・ 品 名： ・ 納 入 場 所： <input type="checkbox"/> (2)支給品、貸与品 <ul style="list-style-type: none"> ・ 引 渡 場 所： 				
<input checked="" type="checkbox"/> 14.排出ガス	<input checked="" type="checkbox"/> (1)排出ガス対策 <p>a) 受注者は工事施工にあたり以下に示す建設機械を使用する場合は「特定特殊自動車排ガスの規制等に関する法律（平成17年5月25日法律第51号）」に基づく技術基準に適合する特定特殊自動車、または「廃ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付建設省経機発第249号）」、「廃ガス対策型国土交通省大臣官房技術審議官通達国総施第215号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械（以下「排出ガス対策型建設機械等」という。）を使用しなければならない。</p> <p>b) 排出ガス対策型建設機械等を使用できないことを監督員が認めた場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・照明事業もしくは建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することができるが、これにより難しい場合は監督員と協議するものとする。</p> <p>c) 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合は、受注者は施工現場において使用する建設機械について、監督員の確認を受けなければならない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 種</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 一般工事用建設機械 <ul style="list-style-type: none"> ・ バックホウ ・ トラクタショベル（車輪式） ・ ブルドーザ ・ 発動発電機（可搬式） ・ 空気圧縮機（可搬式） ・ 油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイフロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転式オールケーシング掘削機 </td><td> ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5Kw以上260Kw以下）を搭載した建設機械に限る。 ただし、道路運送車両の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車で、有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。 </td></tr> </tbody> </table>	機 種	備 考	一般工事用建設機械 <ul style="list-style-type: none"> ・ バックホウ ・ トラクタショベル（車輪式） ・ ブルドーザ ・ 発動発電機（可搬式） ・ 空気圧縮機（可搬式） ・ 油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイフロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転式オールケーシング掘削機	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5Kw以上260Kw以下）を搭載した建設機械に限る。 ただし、道路運送車両の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車で、有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。
機 種	備 考				
一般工事用建設機械 <ul style="list-style-type: none"> ・ バックホウ ・ トラクタショベル（車輪式） ・ ブルドーザ ・ 発動発電機（可搬式） ・ 空気圧縮機（可搬式） ・ 油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイフロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転式オールケーシング掘削機	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5Kw以上260Kw以下）を搭載した建設機械に限る。 ただし、道路運送車両の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車で、有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。				

明示事項	施 工 条 件 等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロードローラ、タイヤローラ ・ 振動ローラ ・ ホイールクレーン 	
<input checked="" type="checkbox"/> 15.施工方法等	<div> <input checked="" type="checkbox"/> (1)受注者責任 施工条件総括表、図面、特記仕様書及び特別に定める場合を除き、仮設、施工方法その他工事目的物を完成させるために必要な手段は、すべて受注者の責任において定めること。（建設業工事請負基準約款第1条第3項） </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> (2)施工計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 総合施工計画書 解体工事総合施工計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物処理施工計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 工種別施工計画書（外部足場架設施工計画書等） ※ 施工計画書は工事の着手前に監督員に提出し、事前の協議を行うこと。 ※ 施工計画書には以下の項目を明記すること。（記載不十分な場合は受理しない。） 1) 工事概要 2) 工種における計画工程（立会い検査、場外検査、臨時検査等の予定を明記） 3) 現場管理組織図（担当者の責任区分を明記） 4) 安全管理対策（安全パトロール、安全教育、日常の安全点検等） 5) 指定機械 6) 主要資材（「品質照明」の確認要領、予定一覧等を明記する。） 7) 施工方法（仮設計画、養生方法、各種試験方法等を明記する。） 8) 施工管理計画（自社の管理基準を明確にし、その基準を満たすための試験方法、確認方法等を明記する。） 9) 緊急時の体制 10) 交通管理 11) 環境対策（騒音・振動・粉塵対策等を明記する。） 12) 現場作業環境の整備 13) 再生資源の利用促進と建設副産物の適正処理方法 14) その他（社内自主検査要領等） </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> (3)工事写真 工事写真は、以下を参考に撮影すること。 「工事写真の撮り方 建築編」 改定第3版 公共建築協会/編集 </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> (4)環境対策 騒音・振動・粉塵対策等 関連法令及び「建設工事公衆災害防止対策要綱 建築工事編」に基づき、総合施工計画書に具体的に明記する。 </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> (6)提出書類等 <input checked="" type="checkbox"/> 妙高市様式 <input checked="" type="checkbox"/> 新潟県土木部都市局営繕課「工事運行マニュアル」 </div>	
<input checked="" type="checkbox"/> 16.その他	<div> <input checked="" type="checkbox"/> (1)近隣等への説明 <input type="checkbox"/> 工事説明会の開催 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が生じた場合、監督員等の指示により、個別に対応 </div>	

明示事項	施 工 条 件 等
	<input type="checkbox"/> (2)中間技術検査（財務課 検査室） <input type="checkbox"/> 基礎工事完了時 <input type="checkbox"/> 上棟時 <input type="checkbox"/> 出来高（概ね）50%以上 <input type="checkbox"/> その他検査員が必要と認める時期（重要構造物、設備類隠蔽前等）
	<input checked="" type="checkbox"/> (3)臨時検査（財務課 検査室） <input type="checkbox"/> 外部足場解体前 <input type="checkbox"/> 内部足場解体前 <input checked="" type="checkbox"/> その他検査員が必要と認める時期（内装解体完了後、上部躯体解体前）
	<input type="checkbox"/> (4)工事成績評定 <input type="checkbox"/> 妙高市請負工事成績実施要領に基づく工事成績評定の対象とする。
	<input checked="" type="checkbox"/> (5)その他 <input checked="" type="checkbox"/> 提出書類 <p>工事期間中に提出する書類は別紙「提出書類一覧表」によるものとする。</p> <input checked="" type="checkbox"/> 定例会議等の開催 <p>工事期間中以下の工事会議を受注者主催で開催する。</p> <p>a) キックオフミーティング（契約後速やかに）</p> <p>b) 定例会議（月2回程度）</p> <p>c) 監督員が必要と認める会議</p> <input checked="" type="checkbox"/> 隣接家屋（田中酒店）の取扱い <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣接している田中酒店家屋は妙高市が実施する工損調査の対象から除外している。 ・ 受注者は在来工法による通常解体を行う前提で、田中酒店家屋への工事施工に伴う影響度合いは考慮しなくて良い。 ・ 工事着手にあたり、田中酒店側の仮囲い、養生等については建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）その他関係法令に基づき適切に設置する。 ・ 上記以外の詳細については、受注者に対し、監督員が指示する。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場における熱中症対策の強化について（義務化） <p>労働安全衛生規則の改正に伴い、現場では熱中症のおそれがある作業員等を早期に見つけ、その状況に応じて迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防ぐため、「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」を適切に実施すること。（具体的な対策強化項目については施工計画書に明記すること。）</p> <p>対象作業</p> <p>「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で連続1時間以上又は1日4時間を超えての実施が見込まれる作業」</p>

(参考図) 工損調査位置図



提出書類一覧表

- ◇1 凡例 運:新潟県工事運行マニュアル 市:妙高市 任:任意 法:法令等様式
- ◇2 書類提出の流れ 請負者⇒監督員(受領印) 請負人に返却が必要な書類は2部提出し、受領印の押されたものを1部ずつ保管する。(※印の書類については、請負者控を必要としない場合は1部でもよい。)
- ◇3 工事施工の途中で設計変更や内容に変更が生じた場合には、その都度必要書類を提出する。
(例)変更工程表、変更施工計画書、現場代理人等変更届
- ◇4 中間技術検査時の提出書類は、監督員の指示による。
- ◇4 ■印のみ該当

時期	書類名称	提出時期	部数		備考
契約締結時	■ 工事着手届 (現場代理人等届)	締結後速やかに提出	1	運	
	□ 経歴書・資格証明の写し	〃	1	任	
	■ 工程表	〃	1	任	
	■ 工事費内訳書	〃	1	任	
着手時	■ 実施工程表	着工に先立	1	任	
	■ 下請負人一覧表	概ね30日以内	1	運	全下請業者を記入
	■ 施工体系図	概ね30日以内	1	運	下請負者が増えた場合にはその都度提出する。
	■ 総合施工計画書	着工に先立	1	任	
	■ 施工体制台帳、下請負契約書の写し	決定次第	1	運	
	建設業退職金共済証紙購入状況報告書又は建設業退職金共済証紙(無購入・購入遅延)理由書	契約後30日以内	正1	市	
	■ 再生資源利用計画書 再生資源利用促進計画書	着工に先立	1	運	総合施工計画書に添付
	■ 照査項目チェックリスト	着工に先立	1	市	工事打合せ簿に添付し提出すること。
	□				
工事施工中	■ 工事打合せ簿 (総合定例会議、工程会議、分科会記録等)	会議毎	必要部数	任	
	■ 工事打合せ簿	その都度	1	市	
	■ 月間工程表	前月第4金曜	必要部数	任	
	□ 使用資材製造者名一覧表	決定次第	1	運	
	□ 工事材料(機材)搬入報告書	必要な都度	1	運	
	■ 工種別施工計画書	施工2週前	1	任	施工条件総括表による。

時期	書類名称	提出時期	部数	書式	備考
工事 施工 中	■ 施工図	施工2週前	1	任	総合仮設計画図、その他必要な仮設図
	□ 機器製作図（承諾図）	製作30日前	1	任	
	□ 場外検査（立会い）願	施工2週前	1	運	監督員が必要と認める場合
	■ 一部施工報告書（自主検査書）	必要な都度	1	運	
	□ 見本・カタログ等	製作30日前	1	任	監督員の指示による
	□ 試験成績報告書	試験完了時	1	任	
	□ 品質証明書	必要な都度	1	任	
	□ ミルシート	完成時	1	任	少量で原本が提出できない場合は、使用した鉄筋・使用量を搬入者から証明を受けてください。
	□ 工事報告書	毎月	1	任	月次の工事進捗報告書
	■ 現場休暇時連絡先一覧表	必要な都度	1	運	任意提出
	□ 休日・夜間作業届	必要な都度	1	運	
完 成 時	■ 履行届	完成時	1	運	
	■ 完成写真	完成時	1	任	
	□ 確認申請書副本	完成時	1	法	
	□ 検査済証（中間検査含む）	完成時	1	法	
	□ 消防用設備検査済証	完成時	1	法	
	□ 防火対象物使用開始届	完成時	1	法	
	□ ELV確認申請書副本	完成時	1	法	
	□ ELV検査済証	完成時	1	法	
	□ ELV試験データ	完成時	1	任	
	□ 設計住宅性能評価証	完成時	1	法	
	□ 建設住宅性能評価証	完成時	1	法	
	□ 地質調査報告書（サンプル付）	完成時	1	任	
	□ 化学物質測定データ	完成時	1	任	
	□ 鍵リスト	完成時	1	任	
	□ 完成引渡書（案）	完成時	1	任	正：引渡時
	□ 鍵引渡書（案）	完成時	1	任	正：引渡時
	■ 施工体系図（最終版）	完成時	1	運	
	■ 施工体制台帳、下請負契約書の写	完成時	1	運	
	■ 下請負人リスト（最終版）	完成時	1	運	
	□ メーカーリスト（最終版）	完成時	1	運	
	■ 実施工程表（実施赤線工程表）	完成時	1	任	
	■ 工事打合せ簿	完成時	1	市・任	

時期	書類名称	提出時期	部数	書式	備考
完成時	■ 施工計画書	完成時	1	任	
	□ 工事総括報告書	完成時	1	市	
	□ 各種保証書	完成時	1	任	
	□ 各種品質証明書	完成時	1	任	
	□ 各種試験成績書	完成時	1	任	
	■ 自主検査記録	完成時	1	任	
	□ 公営住宅等整備基準適合自主検査記録	完成時	1	任	
	工事施工中提出書類 ・工事材料（機材）搬入報告書 ■ ・一部施工報告書 他該当種類全て	完成時	1	運	工事施工中の書類と重複するものは再提出は不要である。
	■ 機器完成図	完成時	1	任	
	□ 機器取扱い説明書（別冊）	完成時	1	任	
	□ 完成図	完成時	1	任	
	■ 工事施工状況写真（別冊）	完成時	1	任	
	□ 建物の保守・保全書（別冊）	完成時	1	任	
	■ 提示書類一覧表	完成時	1	市	安全関係書類他
	■ マニフェスト	完成時	1	法	E票の写し
	■ マニフェスト集計表	完成時	1	任	